

# PIAGET

アルティプラノ アルティメート コンセプトが “AIGUILLE D’OR (金の針賞)” を受賞



ピアジェのアルティプラノ アルティメート コンセプト ウォッチが

第 20 回 Grand Prix d'Horlogerie de Genève (GPHG - ジュネーブ ウォッチ グランプリ) にて

権威ある “Aiguille d’Or (金の針賞)” を受賞しました

これは全カテゴリーを総合した最高のウォッチ（優勝者）を称える賞です

最も薄い機械式時計のひとつ、アルティプラノ アルティメート コンセプトは、ピアジェの研究・イノベーション部門により自社で開発・製造されました。6 年間にわたり各チームがプロジェクトに従事し、これまでの技術を集約し、まったく新しいウォッチメイキングを生み出しました。

アルティプラノ アルティメート コンセプトは、ケースとサファイアクリスタルを含めた厚さわずか 2mm のウォッチです。「このウォッチの制作のきっかけとなったのは、厚さ 2mm のキャリバー 9P が 60 周年を迎えた時に、2mm のウォッチを作ろうと思いついたこと。クレイジーながらも素晴らしいアイデアでした」とピアジェのシャビー・ノリ CEO は述べています。ムーブメントと一体化したケース、入れ子式のリューズ、薄型サファイアクリスタル、そして最も重要な香箱や调速機構の構造など、幾多のイノベーションが搭載されたウォッチ、それがアルティプラノ アルティメート コンセプトです。

アルティプラノ アルティメート コンセプトのもとになっているのは、層構造ではなく、サイズを調整した多数の部品を組み合わせ、ケースとムーブメントを一体化させるという斬新なアイデアです。その過程で、様々なパーツの小型化を追求した結果、ピアジェは 5 つもの特許申請に至りました。こうしてホイールの厚さが 0.12mm、サファイアクリスタルが 0.2mm という、2mm という超薄型の手巻ウォッチが実現したのです。

アルティプラノ アルティメート コンセプトは、薄型ウォッチメイキングを追求してきたピアジェの伝統へのオマージュです。

GPHG 授賞式にて、シャビー・ノリは、このウォッチに命を吹き込んだ時計職人、エンジニア、技術者を称えました。またノリは、「『常に必要以上に良いものをつくる』というピアジェ家モットーの下でピアジェに不可能なことはありません」と述べています。

本受賞はピアジェ、そして、ピアジェのサヴォアフェールと専門技術にとって大きな荣誉です。ピアジェの比類のない優れた技術は、1874 年以来、ピアジェの職人たちによって世代を超えて守られ、継承されています。

# PIAGET

©Piaget 2020不許複製・禁無断転載

ピアジェ オフィシャルサイト

[www.piaget.jp](http://www.piaget.jp)

[www.facebook.com/piagetjapan](https://www.facebook.com/piagetjapan)

[www.twitter.com/piaget](https://www.twitter.com/piaget)

[www.instagram.com/piaget](https://www.instagram.com/piaget)

## ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティビティ溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体现されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メソンの創業者であるジョルジュ＝エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にすピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メソンを代表する「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メソンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「ポセション」 「ピアジェ サンライト」、「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。